



## 2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社テラプローブ 上場取引所 東  
 コード番号 6627 URL http://www.teraprobe.com/  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 浦崎 直彦  
 問合せ先責任者 (役職名) Vice President (氏名) 地主 尚和 (TEL) 045-476-5711  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	12,254	△28.2	△498	—	△688	—	△390	—
2018年12月期第3四半期	17,071	—	1,815	—	1,746	—	1,254	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 △1,130百万円(—%) 2018年12月期第3四半期 1,936百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	△42.76	—
2018年12月期第3四半期	135.18	—

当社は、2017年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2018年12月期第3四半期累計期間(2018年1月1日から2018年9月30日)と、比較対象となる2017年12月期第3四半期累計期間(2017年4月1日から2017年12月31日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率について記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	54,245	29,220	41.3
2018年12月期	62,799	30,914	37.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 22,418百万円 2018年12月期 23,218百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	△22.7	△150	—	△410	—	△100	—	△10.99

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2019年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年12月期3Q	9,282,500株	2018年12月期	9,282,500株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2019年12月期3Q	185,241株	2018年12月期	186株
-------------	----------	-----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期3Q	9,143,982株	2018年12月期3Q	9,282,338株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、四半期決算補足説明資料をウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間において、当社グループの売上高は、当期第2四半期と比較して約14%増加いたしました。これは、2018年後半から続いた主要顧客の車載向けLogic製品の生産調整が一段落し、回復基調に転じたことや、スマートフォン向けイメージセンサの当社受託分が、顧客製品ミックスの変化による一時的な落ち込みから持ち直しの兆しを見せたことなどによるものです。また、売上高の増加に加えて費用削減活動も継続したことなどにより、損益も改善いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間における当社グループの売上高は4,375百万円（当期第2四半期比13.5%増）、営業利益は175百万円（当期第2四半期は営業損失376百万円）、経常利益は97百万円（当期第2四半期は経常損失427百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円（当期第2四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失408百万円）となり、営業利益以下の損益が黒字を回復いたしました。

当第3四半期連結累計期間については、2018年5月1日付でマイクロンメモリ ジャパン株式会社向け半導体テストサービス事業を譲渡したことや、その他メモリ顧客のDRAM製品の需要低迷、車載向けLogic製品の生産調整などによる影響が大きく、前年同四半期と比較して、売上高、利益ともに減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は12,254百万円（前年同四半期比28.2%減）、営業損失は498百万円（前年同四半期は営業利益1,815百万円）、経常損失は688百万円（前年同四半期は経常利益1,746百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は390百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,254百万円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結会計期間の製品別売上高の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	DRAM	Flash	Logic	合計
当第3四半期連結累計期間	2,644	274	9,335	12,254
(参考) 前期第3四半期連結累計期間	6,091	163	10,816	17,071

	DRAM	Flash	Logic	合計
当第3四半期連結会計期間	980	56	3,338	4,375
(参考) 当期第2四半期連結会計期間	920	91	2,841	3,853

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は54,245百万円となり、前連結会計年度末比8,554百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が4,486百万円、有形固定資産が3,993百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は25,024百万円となり、前連結会計年度末比6,861百万円の減少となりました。これは主に、前受収益が1,236百万円、長期借入金が2,383百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は29,220百万円となり、前連結会計年度末比1,693百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失390百万円の計上と、為替換算調整勘定が296百万円、非支配株主持分が892百万円それぞれ減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期第4四半期において、当社グループでは、主要顧客の車載向けLogic製品の需要が回復基調を維持することなどから、当期第3四半期と比較して、売上高、営業利益、経常利益の増加を見込んでおります。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当期第3四半期までに織り込んでいた法人税等の見直しによる要因も含めて、増加するものと見込んでおります。

しかしながら、上半期における同製品の生産調整の影響による売上高の落ち込みと損失を、下半期の回復で完全に補うには至らない見込みであります。

これらの結果、当社グループの通期業績は、売上高が16,800百万円、営業損失150百万円、経常損失410百万円、親会社株主に帰属する当期純損失100百万円を見込んでおります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,288,802	9,802,388
受取手形及び売掛金	5,227,130	5,186,021
製品	52,448	67,245
仕掛品	397,864	347,221
原材料及び貯蔵品	91,077	90,812
その他	943,201	926,769
流動資産合計	21,000,524	16,420,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,670,480	9,494,625
機械装置及び運搬具(純額)	22,280,313	23,343,121
その他(純額)	9,571,724	4,691,214
有形固定資産合計	41,522,519	37,528,962
無形固定資産		
その他	181,359	221,936
無形固定資産合計	181,359	221,936
投資その他の資産		
その他	95,362	73,960
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	95,331	73,930
固定資産合計	41,799,211	37,824,829
資産合計	62,799,735	54,245,288

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	551,972	345,069
短期借入金	1,744,360	1,691,040
1年内返済予定の長期借入金	1,163,362	885,596
リース債務	470,579	376,133
未払法人税等	751,529	211,967
引当金	474,039	339,293
前受収益	2,106,246	870,199
その他	3,119,173	1,302,250
流動負債合計	10,381,263	6,021,548
固定負債		
長期借入金	20,407,043	18,023,148
リース債務	587,117	549,111
退職給付に係る負債	223,270	194,337
引当金	19,416	28,747
その他	267,567	207,645
固定負債合計	21,504,416	19,002,991
負債合計	31,885,679	25,024,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	7,611,322	7,611,322
利益剰余金	3,524,719	3,134,543
自己株式	△195	△119,924
株主資本合計	22,959,158	22,449,254
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	293,482	△2,749
退職給付に係る調整累計額	△33,853	△28,121
その他の包括利益累計額合計	259,628	△30,870
非支配株主持分	7,695,269	6,802,365
純資産合計	30,914,055	29,220,749
負債純資産合計	62,799,735	54,245,288

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,071,043	12,254,487
売上原価	13,430,622	11,396,648
売上総利益	3,640,421	857,838
販売費及び一般管理費	1,825,066	1,356,133
営業利益又は営業損失(△)	1,815,354	△498,294
営業外収益		
受取利息	18,967	40,668
受取手数料	45,541	65,199
その他	77,116	16,940
営業外収益合計	141,626	122,809
営業外費用		
支払利息	143,690	190,216
休止固定資産減価償却費	60,865	74,613
その他	6,095	48,641
営業外費用合計	210,650	313,471
経常利益又は経常損失(△)	1,746,330	△688,956
特別利益		
退職給付制度改定益	—	30,166
地方自治体助成金	2,400	155,349
固定資産売却益	955,212	488,500
受取補償金	923,117	—
その他	2,787	—
特別利益合計	1,883,517	674,015
特別損失		
役員退職慰労金	—	55,000
事業撤退損	—	28,368
設備移設費用	—	184,178
事務所移転費用	304,338	—
その他	45,395	6,631
特別損失合計	349,734	274,178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,280,113	△289,119
法人税等	1,209,558	266,549
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,070,555	△555,668
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,254,791	△390,969
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	815,763	△164,699
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△136,274	△580,847
退職給付に係る調整額	2,339	5,732
その他の包括利益合計	△133,934	△575,114
四半期包括利益	1,936,620	△1,130,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,187,631	△681,468
非支配株主に係る四半期包括利益	748,989	△449,314



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報等)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。